

安定ヨウ素剤の配布等について

平成27年1月27日
新潟県福祉保健部医務薬事課

安定ヨウ素剤の配布・服用について

新潟県地域防災計画上の区域の位置付け

- PAZ(5km圏) … 全面緊急事態の発生後、直ちに避難。
安定ヨウ素剤は指示があった場合、服用。
- UPZ(5～30km圏) … 全面緊急事態の発生後、速やかに屋内退避。
事象の進展に応じて、必要な場合は避難や安定ヨウ素剤を服用。
- PPA(30～50km圏) … 屋内退避や安定ヨウ素剤の備蓄等の計画を策定する地域。
事象の進展に応じて、必要な場合は屋内退避や安定ヨウ素剤を服用。
- 放射線量監視地域(県内全域) … 安定ヨウ素剤の備蓄等の計画を策定する地域。

新潟県地域防災計画上の安定ヨウ素剤の体制整備

- 重点区域(PAZ(5km圏)、UPZ(5～30km圏))
 - … 安定ヨウ素剤の事前配布体制並びに緊急時における安定ヨウ素剤の配布体制を整備。
- 重点区域外(UPZ外(30km～))
 - … 緊急時における安定ヨウ素剤の配備体制を整備。

事前配布にかかる各県の動向

先行県の取組状況

県名	対象人口	説明会開催回数	説明会開催時期	配布方法
鹿児島県	4,715人	9回	H26.6月中旬～7月中旬	説明会を開催し、その後配布会で配布
愛媛県	5,494人	12回	H26.8月下旬～9月下旬	〃
佐賀県	8,299人	※開催中	H26.9月下旬～	説明会を開催し、その場で配布
福井県	10,160人	※開催中	H26年10月下旬～	〃
島根県	約10,000人	—	H26年度内に事前配布計画を策定予定	—

※福井県においては、住民基本台帳のデータを活用し、配布状況を管理する新たなシステムを整備中。

2

本県の取組状況

本県の取組状況

- PAZ・UPZ市町村、医師会、薬剤師会などからなる検討会(安定ヨウ素剤事前配布等に関する検討会)を設置し、事前配布等に向けた体制づくりや諸課題について検討中。

PAZの検討状況

- 安定ヨウ素剤事前配布等に関する検討会をH26年9月、12月に開催。
- 平成27年度の事前配布を目指し、関係機関と調整中。

UPZの検討状況

- 安定ヨウ素剤事前配布等に関する検討会をH26年9月、12月に開催。
- 実効性のある配備・配布方法について検討中。

3

※参考(安定ヨウ素剤の整備状況)

安定ヨウ素剤の整備状況

- PAZ及びUPZに係る40歳未満の者の3日分を配備済。(149万4千錠)
- PAZについては、柏崎市役所、刈羽村役場をはじめ、柏崎市内の小・中・特別支援学校等に配備。
- UPZについては、5保健所(長岡、三条、上越、柏崎、十日町)に保管。

	数量(錠)	有効期限
PAZ		
柏崎地域振興局健康福祉部	56,000	H28.3
柏崎市役所	17,000	H28.3
	4,000	H28.3
	3,000	H28.5
	10,000	H28.5
柏崎市消防本部	10,000	H28.5
柏崎市-西山町いきいき館	5,000	H28.5
柏崎市内小・中・特別支援学校	63,000	H28.3
刈羽村役場	4,000	H28.3
	6,000	H28.3
合計	168,000	

	数量(錠)	有効期限
UPZ		
長岡地域振興局健康福祉環境部	172,000	H28.3
	414,000	H29.5
三条地域振興局健康福祉環境部	136,000	H29.5
上越地域振興局健康福祉環境部	208,000	H29.4
	126,000	H29.5
柏崎地域振興局健康福祉部	150,000	H29.5
十日町地域振興局健康福祉部	120,000	H29.4
合計	1,326,000	

4

被ばく医療機関の指定状況について

被ばく医療機関の指定状況

区分	病院名(所在地)	役割
初期	厚生連柏崎総合医療センター (柏崎市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な除染や救急処置を行う。 ○ 汚染の残存する患者等は二次又は三次被ばく医療機関へ搬送する。
二次	県立がんセンター新潟病院 (新潟市中央区)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シャワーによる除染、汚染した傷の治療等を行い、ホールボディカウンタによる内部被ばくの測定等を行う。 ○ 三次被ばく医療機関への搬送の要否を判断する。
三次	放射線医学総合研究所 (千葉県千葉市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 更なる専門的診療が必要な高線量被ばく患者や重篤な内部被ばく患者を対応。

5